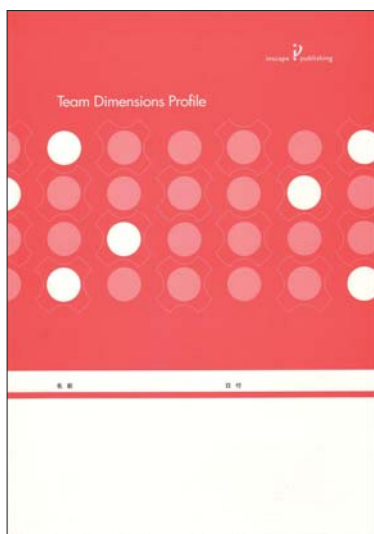


Team Dimensions Profile

チームの中でより効果的に活躍するために

個人とチーム・パフォーマンスの向上で最大限の成果を



優秀なチームメンバーは同じ作業に同時に取り組むような事はしません。しかるべきときに適切な行動をします。そしてチームメンバーが同じ目標に向かって共同作業をするとき、個々のメンバーは作業の中でそれぞれの役割に取り組まなければなりません。企業/組織がますますチームワークによるイノベーションや問題解決、生産性や変化の速さへの対応に期待を寄せる中、個人の取り組みを理解し、最大限に活用することこそがハイパフォーマンスを提供できるチーム構築の基礎となります。

適正な人材に適切な役割を発見しよう

Team Dimensions Profile は、各人が長所を活かして働けるようにチームの中で最も適した役割を知るためのユニークな個人学習ツールです。役割を知ることにより、他のチームメンバーの貢献度を評価することができます。

5つの C.A.R.E. の役割とは：

クリエイター (C)：新鮮なアイデアや独自のコンセプトをつくり出す役割を担っています。既存の枠組みを、越えて「大きな展望」をもちます。ブレインストーミングの過程に自発性や刺激的な発想、エネルギーを提供します。進んで問題解決に取り組みます。

アドバンサー (A)：つくり出されたばかりの新しいアイデアを積極的に促進する役割を担っています。過去の経験に基づいた周到な計画を立てた上で、アイデアを実行に向け推し進めます。チームの目標を熱心にサポートします。最も効果的な方法で目標に到達しようとします。

リファイナー (R)：アイデアやコンセプトに対して疑問を投げかけます。合理的な視点からアイデアを分析し、アイデアの欠点を指摘し、潜在的な問題点を明確化させて解決策を提案します。詳細にこだわり、分析的です。新しいアイデアの現実的な監査役としての役割を果たします。

エグゼク्यूター (E)：アイデアや問題解決を実行に移す役割を担っています。より高い質の結果を得るために、細部にも気を配ります。進んでアイデアを実行しようとします。任務やプロジェクトを問題なく完了するように指示通りに行動します。過程の早い段階で不備や欠陥を発見します。

フレックス：メンバーのチームへの貢献を監督し、仕事の受け渡しが適切なタイミングで行われているかどうかをチェックします。どんなタイプの人とも交渉できます。プロセスに不十分なものを認知し、作業を円滑に進めます。プロセスがより良くなる方法を提案します。

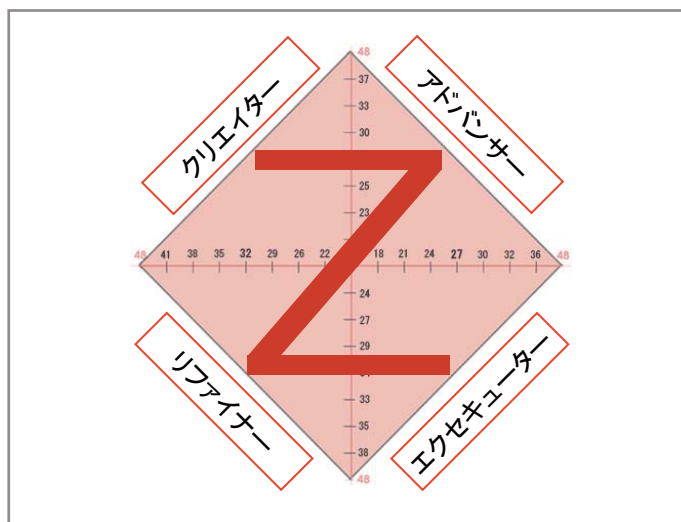
WILEY

Team Dimensions Profile



「Z プロセス」がチームを正しい方向へ導く

Team Dimensions Profile は「Z プロセス」を用いて役割分担や作業の遂行、他のチームメンバーへの作業の引き継ぎフローをマッピングします。仕事はまずクリエイターからアドバンサーへ手渡され、次にアドバンサーからリファイナーへ、そしてリファイナーからエグゼク्यूターへ受け渡されていきます。フレックスはこの受け渡しがスムーズに行くように調節します。



個々の強みを統合し、トータル・チームパフォーマンスに活かす

Team Dimensions Profile は組織内のチームワークを支援します：

- ・チームワークを革新するために個々のアプローチを明確にする
- ・個々の強みをチーム内の最適な役割分担にマッチングさせる
- ・お互いのチームへの貢献を補い合い、理解する
- ・チームの向上と問題解決を促進する
- ・プロジェクトの所要時間を短縮し、生産性を高める
- ・信頼を深め、協力関係を築く
- ・ストレスや対立を減らす

Team Dimensions Profile と独自のZプロセスはプロジェクトへの取り組み開始からチームの目標達成までをフォローします。役割分担を明確化し、プロセスを簡素化し、チームワーク全体の成果を導くように個々の貢献を最大限に引き出す方法として、既に実証済みです。